

第14回 神恩感謝 日本太鼓祭

奉納演奏 出演予定団体プロフィール

太鼓芸能集団 鼓童(たいこげいのうしゅうだん ことう) 【新潟】

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、これまで48ヶ国で5,600回を超える公演を行う。異ジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。2012年より歌舞伎俳優・坂東五三郎を芸術監督に招聘。

豊の国 ゆふいん源流太鼓(とよのくに ゆふいんげんりゅうだいこ)【大分】

『天に碧空、地に源流』九州は由布院の地に古より流れ続ける風あり。それは風采となり、風光となり…。やがて風情・風景・風習となり風土となった。「太鼓叩いて天下泰平 天に碧空、地に源流」と風が唄う。「太鼓叩いて五穀豊穰 天に碧空、地に源流」と風がまた詠う。いくつもの時が越え、いくつもの景色が移ろうとも、揺らくことなく流れつづける由布院の風の音は、男達の手によって、今、日本そして世界へ響きわたる。Beat of Yufuin 鍛えあげられた技と肉体、研ぎ澄まされた心の鼓動…豊の国ゆふいん源流太鼓 それは男達の魂のリズムである。

轟太鼓ユニット(ほのおだいこユニット) 【石川】

女性のみによる編成ながら太鼓を中心に据えたダイナミックなフォーメーションを特徴とし、女流太鼓チームとしては特異な構成で注目を集めている。女性ならではのしなやかな表現と、北陸特有の伝統あるリズムの復活に努め、日々研鑽をかさねる。

三宅島芸能同志会(みやけじまげいのうどうしかい) 【東京】

津村明男(父)・和宏(長男)・秀紀(次男)・春快(三男)で構成。東京の新宿に拠点を置き、1都3県11会場で16教室、日本全国でワークショップを開催。また、これまで東京スカイツリーのオープニング・北海道洞爺湖サミット・伊勢神宮・靖国神社・善光寺奉納演奏・武道館・成田太鼓まつりをはじめとして、国内外で年間約50本以上の公演活動を行っている。海外では、アメリカ、カナダ、オーストラリア、シンガポール、香港にも教室を持ち指導に当たっている。

小倉祇園太鼓保存振興会(こくらぎおんたいこほぞんしんこうかい)【福岡】

小倉祇園太鼓は、小倉城を築城した細川忠興公が約400年前に京都の祇園を模して始めた祭りです。子供達が曳く山車の前後に載せた二台の太鼓を歩きながら叩く全国的にも珍しい両面の歩行打ちが特徴です。低く腹に響く音がする面をドロ、もう一面はやや高い音がするカン、これらがチャンガラ(摺り鉦)と一体に成って品よく、しかも力強く打ち鳴らします。今回は、太鼓四台打ち手8名とチャンガラ2名にて「たいこぎおん」を演じます。

銚子はね太鼓保存会(ちょうしはねだいこほぞんかい) 【千葉】

はね太鼓は、江戸時代から銚子だけに伝わる非常に珍しい祭り太鼓で、銚子市の無形民俗文化財です。太鼓を二人の打ち手が担ぎ上げ、首とあばらで太鼓を支え、打っては跳ね、跳ねては回り、太鼓もるとも宙に舞う。極め付きは「ねかせ打ち」、担ぎ手の一人を抱え込み、地に這わせて太鼓を打ちまくる黒潮躍る海の男の力と技の太鼓です。

愛宕陣太鼓連響風組(あたごじんだいこれんきょうかぜぐみ)【福島】

1994年夏、福島県福島市松川町において、創作和太鼓に情熱をかける男達により「愛宕陣太鼓連響風組」を結成。一昨年、結成から20年を迎えました。一心不乱に太鼓を打ち込み、理屈抜きでストリートに観衆の心に響かせる演奏スタイルは、結成から変えることなく貫いてきました。これからも変わらぬ信念を持って、精一杯太鼓を打ち込み、観て聴いてくれる方々の気持ちを揺さぶる太鼓演奏ができる様、初心を忘れず活動をしていきたいと思います。

大江戸助六太鼓(おおえどすけろくだいこ) 【東京】

「郷土芸能」であった和太鼓を再構築し、舞台芸術としての「和太鼓音楽」を創り上げたパイオニアと言われるグループ。宗家小林は、東京初の和太鼓アンサンブル「助六太鼓」の初代として演奏活動を開始し、瞬く間に全国に名声が広がったが、82年、20分程度のアトラクションとしてだけでなく、舞台芸術として追求するため「大江戸助六太鼓」を創設。打楽器だけでメロディーを感じさせ、見て聞いて2時間飽きさせない和太鼓音楽のステージを展開してきた。軽快で歯切れの良いリズムと洗練された音、全身からくり出されるダイナミックな動き、和の様式美にこだわった「型」、古典芸能の「かけ声」と「間」など、粋でいなせ、な江戸っ子の芸風。また、伝統的な打楽器だけでなく、若者の発想を常に取り入れ、新たな作品を生み続けている。

備中温羅太鼓(びっちゅううらだいこ) 【岡山】

昭和51年、岡山県総社市に古くから伝わる「温羅伝説」に因んで結成。地元総社に魅力ある郷土芸能を育て、地域へ定着させるとともに、地方から全国への文化の発信を目指して活動を続けている。総社市はもちろん、県内外、海外へと活動の場を広げ、通算公演回数は1,000回を超えている。近年は、既成の概念に囚われない曲作りや異種ジャンルとのコラボレーションなど、和太鼓の新たな可能性を見出すべく新境地の開拓を行っている。

高野右吉と秩父社中(たかのうきちとちちぶしやちゅう) 【埼玉】

無形文化財秩父屋台囃子は「京都の祇園祭」、「飛騨の高山祭」と並んで日本三大曳山祭りにあげられる「国指定重要民俗文化財 秩父夜祭」におきまして、山車の中で演奏されるお囃子です。重さ、およそ20トンの豪華絢爛な山車とそれを曳く300人余りの曳き子の息をひとつにそろえるのが、この太鼓です。当保存会は昭和30年埼玉県より「無形文化財秩父屋台囃子保持者」として指定された初代高野右吉により結成されました。太鼓道場「講文館」を中心にして後継者を育成、門下生は1,025名。

さすけ 【石川】

小学生から高校生までの男女で構成。敏捷な身体性と安定感のある打込みが持ち味で、生命力のある太鼓の響きを追究。エネルギーなパワーと呼吸の合ったチームワークを生かし、国内外のさまざまな舞台で演奏活動を行なっている。

一響館侍(いっきょうかん さむらい) 【高知】

高知県で活動している和太鼓チーム、一響館 侍です。メンバーは和太鼓が大好きな高校生から社会人の7名で結成9年目を迎えています。「いつでも、どこでも、なんでも一生懸命」をチームのモットーに、稽古はもちろん学業・仕事も頑張っています。みなさんの心に響く演奏をしたいと思えます。よろしくお願ひします。

熊野鬼城太鼓(くまのきじょうだいこ) 【三重】

昔から語り継がれてきた民話の数々を和太鼓の力強いサウンドにのせて、広く多くの人々の心にアピールしたいという志のもと昭和63年に結成。以来、形式に捕らわれない独自のスタイルの和太鼓作りに励んでいます。私達は、この熊野の地に昔から伝わる太鼓のリズムをベースにメンバー一人ひとりの感性を生かした打ち込みのリズムを入れて曲作りをしています。私達はいつも、観てよし、聞いてよし、人の心に響く音を求めて太鼓を打っていきたくと思っています。

太鼓本舗かぶら屋(たいこほんぽかぶらや) 【広島】

太鼓本舗かぶら屋は1997年に広島にて結成された和太鼓を中心とした音楽集団です。和太鼓・篠笛・民舞・民謡を織り交ぜ、古き良き日本の佇まいを留める伝統楽曲や力強く繊細な和太鼓のオリジナル曲で演出する舞台を続けております。ふるさと広島島の音、古くから残る素晴らしい芸能・音楽を舞台の中心に新しくも懐かしい、皆様に楽しんで頂ける舞台を創造することを目指しています。

レナード衛藤(レナードえとう) 【東京】

ニューヨーク生まれ。1984年より鼓童に参加。演奏や作曲だけでなく、音楽監督としてそれまでの太鼓のイメージを一新する活躍でグループをリードする。ひとつのスタイルを作り上げたその独創的な太鼓アンサンブルは、国内はもとより欧米の音楽シーンやエンタテインメントにまで多大な影響を与える。1992年に鼓童を離れ、ソロ活動を開始。これまでに50カ国を超える国々で演奏活動を行っている。

神恩太鼓(しんおんだいこ) 【三重】

1992年、伊勢神宮内宮前おかげ横丁の誕生とともに結成。現在は二次編成チーム。伊勢の風土をいっばいに感じながら、おかげ横丁の基本精神「神恩感謝」を太鼓の音で表現すべく演奏している。

音の体験教室『ミニ太鼓作り』

オリジナル太鼓を作っていただける体験教室です。ケヤキの胴に革を張る、ミニ太鼓とは思えない本格派の太鼓です。

■時間：12:30~14:00(所要時間約90分)

■場所：おかげ横丁「特設会場」

■費用：有料(両日とも先着20名)

■受付：当日10:00より受付

■協力：(株)浅野太鼓楽器店

お祭り屋台

太鼓を中心とした鳴り物玩具、法被や足袋、手拭いなどのお祭り関連グッズ、季節の食べ物などが所狭しと並びます。

■時間：10:00~17:00

■場所：おかげ横丁内「特設屋台」

総合案内 電話 0596(23)8838
〒516-8558 三重県伊勢市宇治中ノ切町52
http://www.okageyokocho.co.jp/



■交通のご案内(公共交通機関で)

近鉄名古屋から近鉄特急で約85分「宇治山田駅」下車。

大阪難波から近鉄特急で約110分「宇治山田駅」下車。

駅前から三重交通「内宮前」行きバス約20分、「神宮会館前」下車、徒歩1分。

